

\*調査の詳細は、ホームページをご覧ください。

アイコン 景況調査



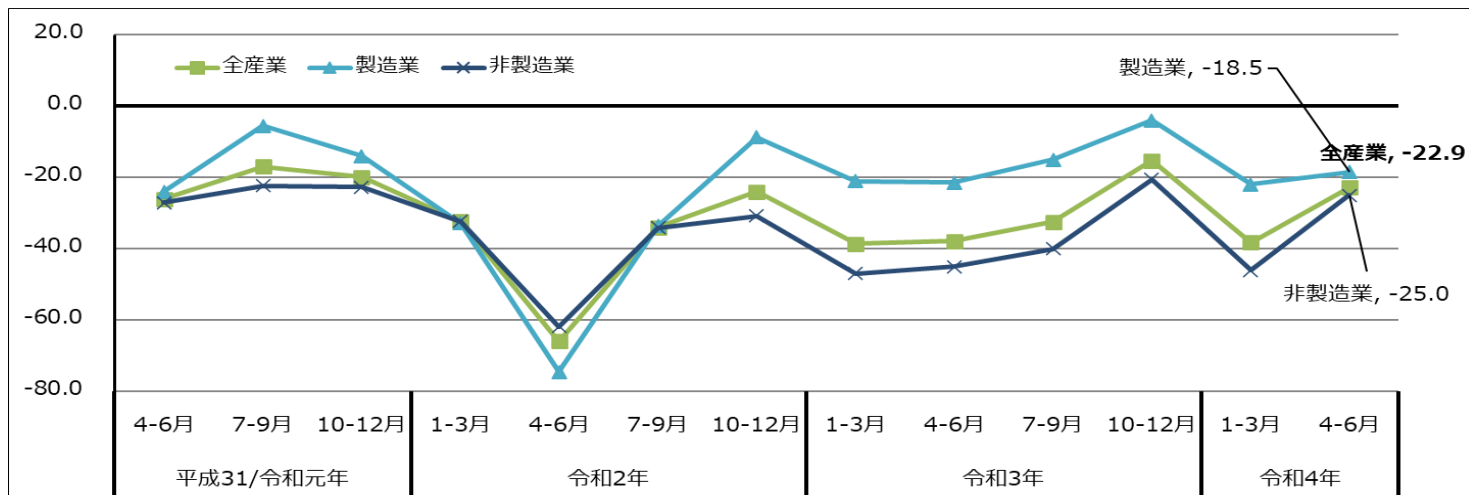
## 業況判断DIは全産業で改善。景況感は持ち直し。

- ◆ 売上は改善傾向 . . . 出荷額・売上高等DIは全産業で改善、非製造業では大幅に改善。
- ◆ 前期比収益は持ち直し . . . 全産業で改善。製造業では悪化も、非製造業では改善。
- ◆ 原材料仕入価格は高止まり . . . すべての業種でDIは50を超える。卸売業では90.3まで上昇。

### ◆業況判断（前期比）注（ ）内は前回調査との差を示します。

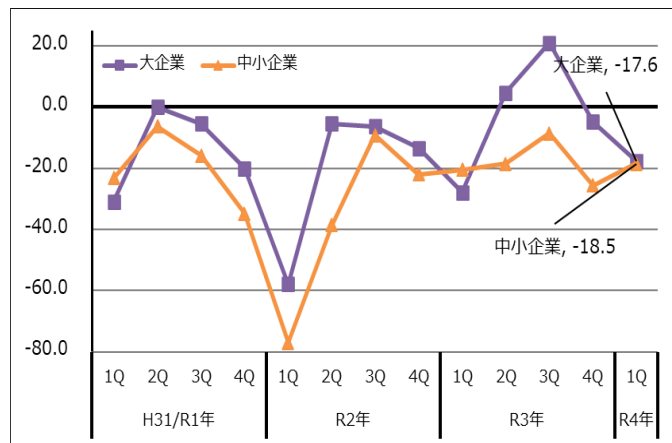
#### <全体>

業況判断DIは、▲22.9（+15.3）で改善し、来期も改善の見通しです。産業別では、【製造業】は▲18.5（+3.5）で改善、【非製造業】は▲25.0（+21.1）で大幅に改善しました。



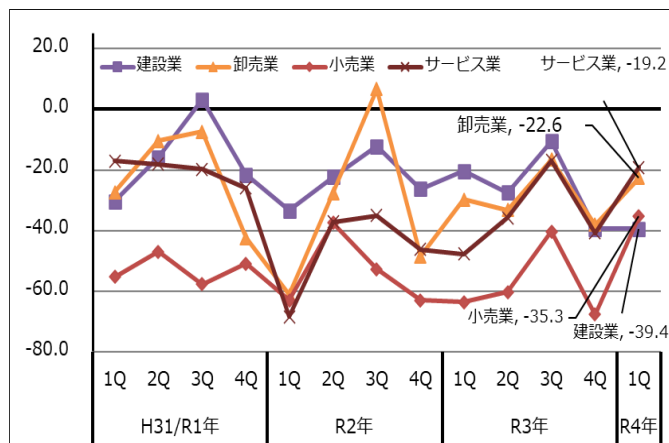
#### <製造業（規模別）>

【大企業】は▲17.6（-12.8）で悪化したものの、【中小企業】は▲18.5（+7.0）では改善しました。



#### <非製造業（業種別）>

【小売業】で▲35.3（+32.5）、【サービス業】で▲19.2（+21.6）と大幅に改善、【卸売業】で改善しました。【建設業】は横ばいです。



#### DIとは

景気動向指数「デフュージョン・インデックス（Diffusion Index）」の略。「好転」（または「上昇」「増加」「過剰」と回答した企業の比率から「悪化」（または「下降」「低下」「不足」と回答した企業の比率を差し引いたもので、業況の方向感を図るための指標です。

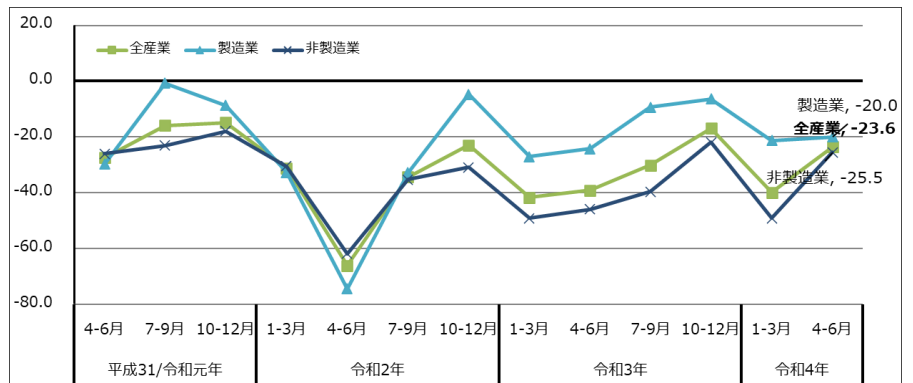
## ◆業界天気図



業種 項目	全産業	製造業			非製造業				
		全体	大企業	中小企業	全体	建設業	卸売業	小売業	サービス業
今回業況判断DI値									
前回との差									

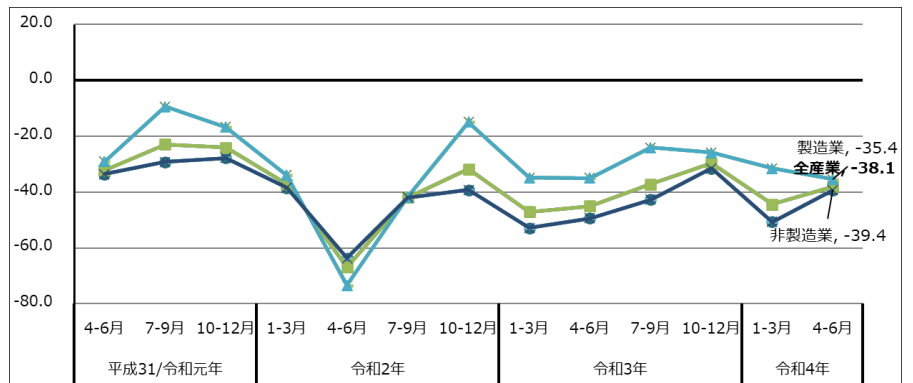
## ◆出荷額・売上高・完成工事高

- 出荷額・売上高・完成工事高 DI は、▲23.6 (+16.3) で、改善しました。
- 【製造業】では、改善、【非製造業】では、大幅に改善となりました。しかし、依然として上昇と回答した企業の割合より、下降と回答した企業の割合が高い状況です。



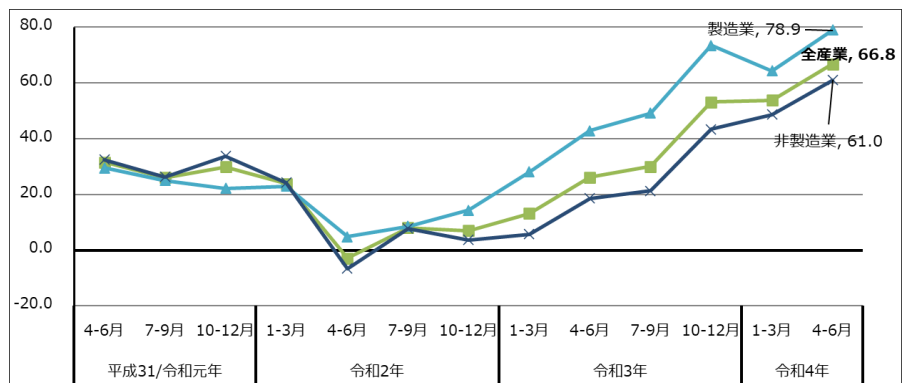
## ◆収益 (前期比)

- 収益 (前期比) DI は、収益が前期より「好転」したか「悪化」したかを示すものです。全産業で▲38.1 (+6.2) で改善しました。
- 【製造業】では、▲35.4 (-3.9) で悪化、【非製造業】では、▲39.4 (+11.2) で改善しました。



## ◆原材料仕入れ価格

- 原材料仕入れ価格 DI は、66.8 (+13.0) で上昇しました。
- 【製造業】では、78.9 (+14.6)、【非製造業】では、61.0 (+12.4) と上昇しました。特に【電気機械】【製造業その他】【サービス業】の上昇が大きく影響しています。



### <本資料の問い合わせ先>

■ 尼崎市 経済環境局 経済活性課

担当: 田枝・西岡

連絡先: 06-6489-6670

■ (公財) 尼崎地域産業活性化機構 調査研究室

担当: 藤野・宮崎

連絡先: 06-6488-9501 (代)

<https://www.ama-in.or.jp/research/sub01.html>